

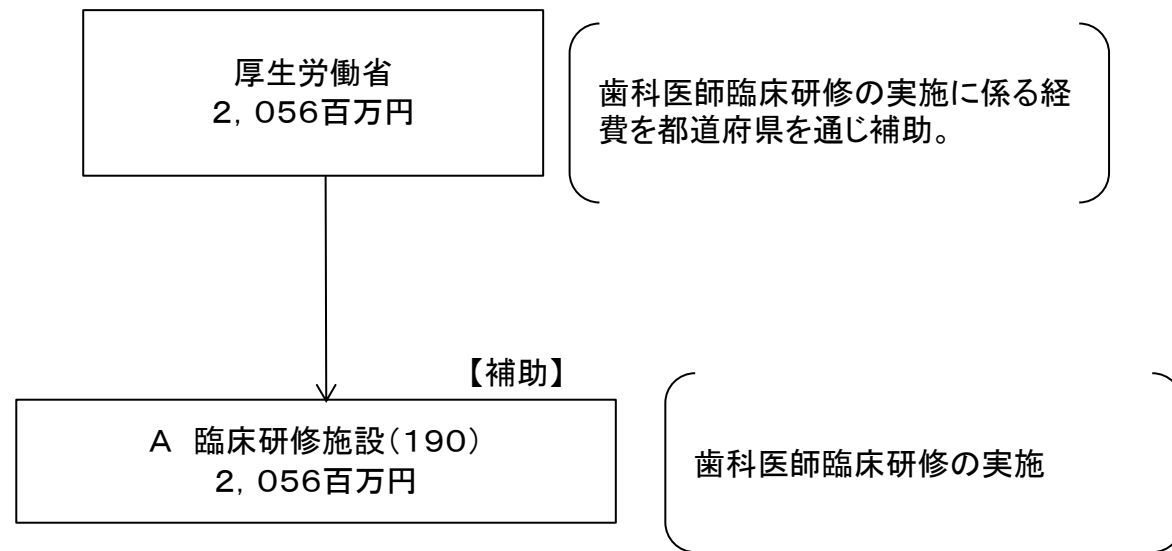
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	歯科医師臨床研修費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度～		担当課室	歯科保健課		課長:上條 英之		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成17年6月28日医政発0628012「歯科医師法第十六条の二第一項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」 平成18年7月3日医政発0703012号「歯科医師臨床研修費補助事業の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歯科医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、一般的な診療において頻繁に関わる疾病に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を修得するための臨床研修を支援すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	臨床研修施設における指導歯科医等の確保、研修プログラムの企画立案・管理、研修歯科医の受け入れのための環境整備等に係る経費に対する財政支援を行う。 対象経費:研修乖離委員会経費、プログラム責任者人件費、役務費等 補助率:定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	2,911	2,234	2,262	2,036	1,725	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	2,911	2,234	2,262	2,036	1,725		
	執行額	2,868	2,164	2,056				
執行率(%)	98.5%	96.9%	90.9%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	研修歯科医師数			人	2,246	2,385	2,240	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	歯科医師臨床研修施設数 (単独型・管理型・協力型代表施設)			施設	176	185	190	-
					(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	918(千円/研修歯科医数)		算出根拠	平成24年度執行額/平成24年度研修歯科医数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	臨床研修費等補助金	2,036	1,725	プログラム責任者経費の減				
	計	2,036	1,725					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	安心・安全な歯科医療を提供するため、国家試験取得後の歯科医師に対して研修期間を確保し、歯科医師の質の向上に取り組む。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	民間等に委ねた場合、実施されない可能性がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	安心・安全な歯科医療を提供するため、国家試験取得後の歯科医師に対して研修期間を確保し、歯科医師の質の向上のため優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	交付要綱において補助対象等を定めており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	事業計画書に必要経費を記載させ、不要な経費があれば削除するよう指摘しコスト削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	補助事業であり、交付申請書を審査して事業に必要なものに限定して交付している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	—	—	—		
点検結果	今後も執行状況等を踏まえて、事業の内容・規模・予算額等について改善していく点がある場合には、的確に反映してまいりたい。				
	外部有識者の所見				
外部有識者の所見					
—					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	歯科医師臨床研修費については、事後の検証・効果を踏まえた見直しの観点から、活動実績、事業効果を検証し予算を縮減すべき。				
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
縮減	平成26年度概算要求においては、活動実績等を踏まえ、研修プログラムの作成経費など診療現場への直接の影響が比較的小さく、業務の効率化が見込まれる経費について、予算の縮減(25年度予算額から▲311百円)を行っている。				
	備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	94	平成23年	0078	平成24年	057

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.学校法人 日本大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	指導歯科医、プログラム責任者等	131			
需用費	光熱水費等	6			
計		137	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人 日本大学	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	137		
2	学校法人 日本歯科大学	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	115		
3	学校法人 総持学園	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	113		
4	学校法人 東京歯科大学千葉病院	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	113		
5	学校法人 大阪歯科大学	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	109		
6	学校法人 愛知学院	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	106		
7	学校法人 日本大学	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	106		
8	学校法人 昭和大学	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	96		
9	学校法人 神奈川歯科大学	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	94		
10	学校法人 明海大学	指導医に係る人件費、研修に必要な経費等	76		